



年度末のごあいさつ

今年の冬は、日本海側を中心に大雪に見舞われた地域もありました。栗原市内は比較的雪も少なく、ビジターセンターではこの時期雪かきは憂鬱な作業の一つですが、作業も数えるほどで、3月を迎えホッとしているところです。

さて今年度のジオパーク活動ですが、活動拠点のビジターセンターは3月末で開館から丸4年になります。初めて臨時休館ナシでの運営となります。コロナの影響で単純比較はできませんが、入館者数は前年度比で3割程の増を見込んでいます。要因は、市内外の小中学校の学習が増えたことで、特に市外では近隣の登米・大崎・一関のほか県南や関東の中学生が、防災やSDGsの視点で訪れています。

このほか、大地のめぐみである苔の展示や教室を初めて開催したところ、市外から多くの方に訪れて頂きビックリしました。

2023年度も既にジオ学習の問い合わせがあるなど、学習の増加が見込まれることから、今後も創意工夫をしながらガイドの皆さんと連携を図り、楽しいジオパーク活動に取り組んでまいります。(局長)



晴れた日の栗駒山 (2月4日)

マガンのねぐら入り観察会

2022年11月5日に、友の会の巡検として、伊豆沼・内沼で、(一社)くりはらツーリズムネットワークの大場さんの案内のもと、マガンのねぐら入り観察会を開催しました。天候に恵まれたこの日は、空一面に帯状に連なったマガンの群れが昼間の活動を終えて一斉にねぐらへと帰ってくる様子を観察することができました。



ねぐら入りするマガンたち

ジオパークガイドの会設立

2022年8月に栗駒山麓ジオパークガイドの会が設立しました。現在、38名のジオパークガイドが登録されており、ジオパークの学習や案内など様々な場面で活動しています。今後のさらなる活躍にご期待ください!



学習に案内に 2022年も大活躍のみなさん

栗駒山麓ジオトレイルの整備にむけて

栗駒山麓ジオパークを楽しんでいただくメディアのひとつとして「栗駒山麓ジオトレイル」の整備にむけた活動を進めています。ロングトレイルとは、「歩く旅」を楽しむために造られた道のことです。登山道やハイキングルート、自然散策路、里山のあぜ道、ときには車道などを歩きながら、その地域の自然や歴史、文化に触れることができるのが魅力です。

今年度も関係団体とともに、コースの調査・整備作業や講座を開催しました。



世界谷地のロングトレイル

調査・整備作業は、栗駒耕英地区のはらみ坂周辺で実施しました。講座は3回開催し、講師には四角友里さん（アウトドアスタイル・クリエイター／10月29日）、櫻庭佑輔さん（環境省／11月11日）、斉藤正文さん（プロフェッショナル・ハイカー／1月21日）の3名をお迎えしました。

今年度の講座にも多くの方にご参加いただき、ロングトレイルの楽しみ方やカルチャー的側面を知っていただく機会となりました。次年度以降も、トレイルの開通にむけて活動を重ねていきます。



四角友里さんと秋の色がし

--2023 年度ビジターセンター企画展のお知らせ--

◆みて、ふれて、わかった！
栗駒山麓のおもしろいところ

【開催期間：3月11日（土）～4月10日（月）】

2022年度に実施したジオパーク学習で、子どもたちは何を学び、どのような成果を得たのか、展示や成果品を通して紹介します。子どもたちの1年間の成果をぜひご覧ください。

【企画展開催場所】

・栗駒山麓ジオパークビジターセンター 企画展示室ほか
・開館時間：9:00～17:00（休館：火曜日）

◆2008年岩手・宮城内陸地震から15年、これまでとこれから

【開催期間：4月27日（木）～11月27日（月）】

2023年で岩手・宮城内陸地震から15年が経過します。そこで「自然災害を止めることはできないけれど、過去に起きたことを知り守ることで、自分と災害との向き合い方を考えることはできる」をテーマに展示やシンポジウムを開催します。当時の記憶をぜひお寄せください。

栗駒山麓ジオパーク

ニューズレター

発行 栗駒山麓ジオパーク推進協議会

〒989-5372 宮城県栗原市栗駒松倉東貴船5

（栗駒山麓ジオパークビジターセンター）

TEL 0228-24-8836 FAX 0228-45-5936

E-mail info@kurikoma-geo.jp

Webpage kuriharacity.jp/geopark/index.html

Facebook facebook.com/geo.kurikoma/



公式サイト



Facebook



LINE



栗駒山麓ジオパーク